

# メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第59号 〔2014年1月号〕

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。  
JAM 会報メール第59号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へJAMの最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。  
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次> [ページ]

メソトマンスリー

国内から

国際保健医療協力のなかで (24)

編集後記

次号の予定



【東京＝田辺 文】

日頃より JAM をご支援くださっている皆様、遅くなりましたが新年明けましておめでとうございます。

手探りで始まった JAM の活動も今年で7年目を迎えます。市民活動への意識の高まりから、さまざまな会が発足し、一方で継続が難しい中、ここまで活動を続けてこられたのは、会員の皆様のあたたかいご支援あってのことです。心からお礼を申し上げます。

昨年は国内で大きなイベントを開催することはありませんでしたが、JAM にとって大きな飛躍の年となりました。より社会的に認められ、責任を持った活動をするという決意のもと、NPO 法人の申請を行い受理していただきました。法人の申請に先立ち、JAM のミッション（使命）とビジョン（理念）を見つめ直すという作業を行いました。ホームページ等では掲載しておりますが、会員の皆様に改めてお伝えする機会がなかったのでこの場に記載させていただきます。

**〈ミッション〉** 母国のミャンマー、庇護国のタイでも最低限の保健医療が満たされないミャンマー難民、移民。メータオ・クリニック支援の会は彼らの権利と幸福を守るため、メータオ・クリニックとクリニックを応援する世界の支援者とともに、医療支援と保健活動を行います。

**〈ビジョン〉**メータオ・クリニック支援の会は、ミャンマー難民が安心して健やかに暮らせる日が訪れるまで、命を守る医療を、健康を守る保健を彼らに寄り添いながら継続していきます。

最も大事にしたかったのは「(ミャンマー難民、移民に) 寄り添いながら」という部分です。国境の難民、移民問題は日々前進しており、政治、学際、経済、各レベルで多くの方々が問題解決に向けて動いています。その中で私たちの役割は小さいですが、彼らに寄り添う存在でありたいと。そんな願いと決意が込められています。

ミャンマーの「民主化」が大々的に叫ばれてから数年、変化は確実に国境の町にも訪れており、日本で活動する事務局員も現地からの報告を通して感じる事ができます。

メータオ・クリニックや JAM の活動も、これまでのように「支援をつなげていく」ことだけを考えるのではなく、今後この役割を誰が担っていくのか、ミャンマーなのか、タイなのか、自治体なのか。そういった将来を見据えての計画性が求められています。国境の人々はもはや避難民や一時的な滞在者ではなく、権利と責任をもった住民へ。メータオ・クリニックも難民診療所ではなく地域医療の中で規定された役割を果たす一医療機関へ。そう変わっていくための段階を確実に歩んでいます。

変化の中にいる人々に寄り添いながら、彼らが安心して健やかに暮らせる日が訪れるまで、JAM も共に歩んで行きたいと思えます。

今年もメータオ・クリニックと JAM の活動を見守っていただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。





## メソトマンズリー

【メソト＝田畑 彩生】

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。  
皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

本年も皆さまの応援とご支援を頂き、元気に国境の街メソトで活動を続けさせて頂けますことを大変有り難く感じております。現在は、JAM 初代派遣員の梶藍子や JAM 前任者の前川由佳も他団体よりタイに赴任しており、心強いメソトでの生活を送っております。

昨年は、メータオ・クリニックへ日本から老若男女、個人様、企業様、団体様を問わず、のべ40件を越える方々にご訪問を頂きました。たくさんの報道関係者の方に国内外よりご注目頂き、ご取材頂きました。JAMがNPO法人として日本政府に認可された年でもありました。メータオ・クリニックに初めて日本政府から草の根無償資金協力の支援が決まった年でもありました。

欧米の世界的不況などにより、クリニックへの欧米政府からの支援が減少している中、日本の皆さまのご支援とご注目はクリニック一同、JAM一同の元気の源、毎日の活力となっております。あたたかい継続的なご支援を頂きありがとうございます。

今年は、また挑戦の年となります。院内感染事業・地域保健事業への取り組みを念頭に置いた日本政府への支援要請へ向けた挑戦。地域保健部門への活動予算が欧米政府の予算削減により現在1%しか確保されていないとの連絡を受けた事による、予算確保への挑戦。またタイ保健省・教育省との関係を強固にすべく地域保健部門の連携を強めていくことも挑戦です。今後とも引き続きご支援賜れますよう、精進して参ります。

また、国境の街メソトで、そして一時帰国の際、報告会の際には日本でお会い出来ます事を心から楽しみにしております。

メソトも寒暖の差が激しく、寒さが増します。  
厳しい日本の冬、皆様どうぞお風邪など召されませんよう、ご自愛下さいませ。  
本年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

## 今月のイクメン

今月のイクメン。カッコいいメンズ、子育てするメンズ、仕事でもいけてるメンズを総称してイクメンと勝手に定義しました。

メータオ・クリニックには、イクメンがたくさん。モンセイさん、彼もその1人です。赤ちゃんとポーズをとってもらいました、素敵ですね。

「ゴラゲー！（おはよう！）」昨年産まれたばかりの男の子を連れて出勤。彼は、現在患者情報カルテ室で勤務をしています。奥様もクリニックで勤務しており、今日はお疲れな奥様が変わって子どもをみます。この様にメータオ・クリニックには、子育てしながら勤務するイクメン、もちろんイクウーメンがたくさん。イクウーメンの代表は院長のシンシア先生ではないでしょうか。医学部進学を目指している大きな息子さんから、クリニックに置いてきぼりにされたお子さんを養子として育てていたり、移民学校に今も通う子どもさんの数は数



えきれず…イクウーメン…私も目指します。そして旦那様にもイクメンを希望です。



## 国内から

【東京＝菊池】

みなさん、はじめまして。そして、これまでに会ったことのあるみなさん、お久しぶりです。

2012年夏より正会員として JAM の活動に参加させていただいています、菊池と申します。今回は、初めて会報に記事を書く機会をいただきましたので、自己紹介や JAM との出会い等含めて、今思うこととお話しさせていただけたらと思います。ちょっとまとまりのない所等もあるかもしれませんが、ご容赦ください。

私は、これまで大阪→千葉→愛媛と移動し、現在は東京都内の総合病院で看護師として勤務しています。実家は、愛媛県松山市にあり、周囲を田んぼに囲まれた、とってものんびりした所です。四国は温かいと思われがちですが、気温は東京と同じぐらいですし、雪も降ります。そして、残念ながら蛇口からみかんジュースは出ません。でも、みかんは美味しい！と思います。（そろそろ実家から送られてくる頃かなあと思っています。）あと、愛媛の有名なものは…道後温泉ぐらいですかね。前を通ったことがあるだけで、入ったことがないのですが、近いうちに行ってみたいと思っています。地元にいる頃には、あまり考えることはありませんでしたが、離れてみると地元の何もない田舎さや古いものを良い所だなあと自然に思うようになりました。

四国はあまり行かれたことのない方も多いかもかもしれませんが、のんびりしたくなったら、ぜひ♪

でも、ホントにのんびりしていますので、ご注意ください。電車は15～30分毎です。

↓私の母校(中学校)周辺です

↓今年の総会にて





大学までを地元で過ごして、東京に来て6年が過ぎようとしています。  
気がついたらココまで来てしまった、というのが正直な思いですが、それだけ様々なことがあって、いろいろな経験をしてきたからだろうと思うことにしています。

就職してから5年間は、整形外科の患者さんの多い病棟に勤務し、昨年の4月からは、糖尿病や心筋梗塞・腎不全等の患者さんの多い内科系病棟で勤務しています。ここで、JAMで活躍されている方々と出会い、メータオ・クリニックのことを知りました。

2012年夏のスタディツアーに参加し、タイ=ビルマ/ミャンマーの国境周辺の様子に少し触れることができました。ツアーに参加した当初は、そこで見た厳しい生活環境や日本とは大きく違う状況での医療の提供、学校の様子に圧倒され、自分の今後に悩んでいたこともあり、自分ができることなんて…と落ち込むこともありました。もちろん、今でもそう思うこともあります。スタディツアーのことを考えてまず最初に思い出すのは、子どもたちや出会った人たちのたくさんの笑顔です。(子どもの笑顔って、どうしてあんなにも輝いていて、パワーを感じるのでしょうか。) まだまだ私自身は力不足ですし、自分のやりたいこと/やらなければいけないことの狭間で行ったり来たりしていますが、JAMのカレンダーや会報等の写真に癒され、日々の元気をもらっています。そして、いつかあの笑顔にまた会えるといいなあと思っています。

これからも、日本・タイでのみなさんの活動に刺激をもらい、笑顔に癒されながら、JAMの活動に参加していけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 国際保健医療協力のなかで (24)

【東京=小林 潤】



先週フィリピン大学公衆衛生校を訪問した。

東南アジアの公衆衛生の中核を担っており、フィリピン国内だけでなく ASEAN の人材育成をも行っている。マニラのダウンタウンであるエルミタ地区の真ん中に位置しているがキャンパス内は、静寂が保たれ、時折入ってくる風はすがすがしく感じる。伝統あるキャンパスに共通した威厳のようなものを感じた。

大学間協定の内容を吟味したあと、昨年フィリピンを襲った、巨大台風による悲劇を公衆



衛生学的に分析し次にそなえるための研究を進めることについて話を進めた。科学論文として、より国際的に高い評価のある雑誌での発刊を目指すことは差し置いて、実際に応用できる戦略を作っていくことを最も大事にすることでいとも簡単にフィリピン大学の教授とコンセンサスを作ることができた。

こんな当たり前のことが最近見失われている。

医療系の研究者の評価は、投稿した科学論文が掲載された雑誌の評価の指標であるインパクトファクターによって行われる。このため研究者はいかにインパクトファクターの高い雑誌に載せるかばかりを考えるのだ。「この評価はおかしいのではないか」とよく酒の上の話で討議するが、結局、現時点でこの物差しが唯一の世界共通のものである。そのため、研究結果がインパクトファクターの高い雑誌に乗れば、私も微笑んでしまうわけである。しかし、国際保健の研究で一番大切なのは「それがいかに開発途上国の人ために役立ったか」であることを、学生には哲学として伝えたいと思っている。

討議がおわって、フィリピン大学のキャンパスをでてホテルに戻るときに、「歩いて帰るなら十分気を付けて」と言われた。昔からスリや強盗が多いところなのだが、すきあれば旅行者をとり囲んでスリを行う子供達の数が増大している。マニラ湾沿いは日中でも20年前は危なくて歩けなかったのが、近年夕日を楽しみながら散歩ができるようにまで治安はよくなっていたのに、である。昨年の台風で家を失い、安全な飲み水や食べ物が無い島からマニラに逃げてきた・輸送されてきた人達・子供達が、帰るところがない・帰らないという状況はまだ続いているようだ。

経済学者が考えた環境対策の国家間取引は素晴らしい地球温暖化対策だという人も多い。先進国は基準以上のCO<sub>2</sub>を出しても、その分お金をだして開発途上国の環境対策を支援すればいいという取引である。本当にこれは素晴らしい案なのだろうか。温暖化は刻々と進行しているのは今やまぎれもない事実である。このために巨大台風が形成され、今までなかったような災害が事実起きてしまったのである。フィリピンの貧困層はなすべくもなかったのが事実だ。どれだけの人々がどれだけ被害をうけたのかはまだ正確にはつかめないようだ。彼らはCO<sub>2</sub>を多く出す生活はしていなかった。一方、日本を含む先進国の快適なライフスタイルによって多くのCO<sub>2</sub>が排出されているのは紛れもない事実だ。

自分たちの島から追われてきた子供達は今日もマニラの街をさまよっている。

## 編集後記

今年もどうぞよろしくお祈りします。

さて、写真は、山梨県にあるカチカチ山ロープウェイから見た富士山です。

ここは、昔話カチカチ山の舞台だそうです。先週行ったら、雪が少し道路わきに積もっていました。



それから山梨県の有名なお土産「信玄餅」を売っている桔梗屋さんに行きました。

テレビでもよく紹介されている信玄餅つめ放題。220円。



旅館の仲居さんに「週末は朝いちばんに行かないと終わっちゃうのに昼前でもできたなんてラッキーだったのね」と言われました。

「ほうとう」も初めて食べたし、富士山はとてもきれいに見えたし、温泉は気持ちよかったし、高速道路も渋滞に巻き込まれなかったし、とても楽しい山梨旅行でした。

### 次号の予定

次号は、2月中～下旬ごろ配信の予定です。

ホームページは、随時更新していきますので ぜひ、お時間があるときにご覧ください。

Facebookにもぜひ「いいね！」をよろしくお願いします。



**NPO法人メータオ・クリニック支援の会      Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)**

日本事務局宛て E メール： [support@japanmaetao.org](mailto:support@japanmaetao.org)

ホームページアドレス      : [www.japanmaetao.org](http://www.japanmaetao.org)

フェイスブック                      : Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

